

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09020030

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	2 林業の振興	事業優先度	B	
単位施策	1 生産体制の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	森林認証取得管理事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	町有林の森林認証取得及び管理		#N/A	
事業目標	森林認証面積 2,665ha	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	町有林の森林認証取得及び管理	管理審査	管理審査	森林認証取得	管理審査	管理審査
	事業費(千円)	1,010	110	110	550	120
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	1,010	110	110	550	120	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	208	113	95	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	208	113	95			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 管理審査 2,665ha	(実施内容等) 管理審査 2,665ha	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	町有林 2,665ha	町有林 2,665ha	町有林 2,720ha	町有林 2,720ha
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	103%	86%	0%	0%
		全体達成率	11%	21%	21%	21%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	森林認証取得管理事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	林務係長	渡部 憲一

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町有林	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	町有林の森林認証面積
【抱える課題やニーズは】	地域材の需用、木材価格の低迷	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地域材のブランド化、地材地消による地場産材の利用促進	① 森林認証審査面積÷森林認証計画面積	目標年度 平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	林業の振興、地域生産力の向上		目標値 2,665 ha
			実績値 2,665 ha
			達成度 100.0 %
		②	目標年度 平成26年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①森林認証管理	雄武町、興部町、西興部村及びオホーツク中央森林組合、雄武町森林組合が協定を締結し、それぞれが所有若しくは管理する森林を対象に、森林認証(SGEC)の管理を行った。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	森林資源の確保や町土の保全など森林の持つ多面的な機能の有効活用を図るべく、地域材のブランド化や地材地消による地場産材の利用を推進し、林業の振興、地域生産力の向上を目指すため必要性が高い。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	森林認証を取得した結果、地域材がブランド化され、林業の振興、地域生産力の向上に繋がった。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	雄武町、興部町、西興部村及びオホーツク中央森林組合、雄武町森林組合が協定を締結し、共同管理したことで経費の節減が図られた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	雄武町、興部町、西興部村及びオホーツク中央森林組合、雄武町森林組合で取得面積割合に応じて負担している。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
地域材のブランド化、林業の振興、地域生産力の向上に向け、計画どおり町有林の森林認証を管理することができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
本事業は、認証取得による地域材のブランド化、地材地消による地場産材の利用促進を図ることから、継続して実施すべき事業であり、当分は現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止